

ほっとライン10月号

～ささえる ～つなげる ～ほっとする

10月(神無月) 季節はみのりの秋を迎えます。皆さまお変わりなくお過ごしでしょうか

1998年10月1日の活動発足から、おかげさまで25年目に入りました。会員の皆さま、ご家族、福祉連携機関、大勢の皆さまとのつながり、ご協力にスタッフ一同心から感謝申し上げます。

この節目の年に、あらためてマイत्रीヘルプサービスの発足経緯をお伝えします。1986年(昭和61年)孝道山が開かれて50年目に、マイत्रीの心を広く人びとに伝えるため、5つの標語を掲げマイत्री運動がはじまりました。マイत्रीとは、慈しみ・友情・思いやりを意味します。

その思いやりの心を根本に、介護の推進が活動の原点です。「お互いを尊び、助け合い、人々が安心して暮らしていける社会づくり」を目的に、諸活動に取り組んできました。

訪問介護(生活サポート)からはじまった活動は、現在7つの活動(生活サポート、介護・よろず相談、ほっとサロン、つながりもっと、知って安心セミナー、地域施設連携、神奈川区社会福祉協議会助成金事業)を提供し、ご利用頂いています。

今後も皆さまとのご縁を大切にしていきながら、「共に喜びも苦しみも分かち合い」「ほっとできる場」「心の拠り所」のマイत्रीヘルプサービスを目指していきたいと思ひます。



～第11回感謝のつどい 9月11日 オンラインで開催～



演奏後の記念写真

年1回の会員、ご家族、地域施設職員の皆さまとの交流会です。
オンライン、YouTube配信、後日ビデオ視聴140名の皆さまの参加!

- ◎総理さまのビデオメッセージに感動です。心に余裕を持って介護します。
- ◎コロナ禍の中オンラインで実施。新たな工夫でしたね。歌に感動です!
- ◎活動紹介はとても分かりやすかった。企画が心に響く。お疲れ様でした。
- ◎利用者の方々に寄り添う活動を積極的に続けていますね。喜びいっぱい。
- ◎こんな時だから平和、助け合い、人とのつながりの大切さを実感しました。

大勢の皆さまより感想を頂きました。その中からご紹介です。ありがとうございました。

読者コーナー



パステル画
秦雨欣さん



絵手紙
福澤早苗さん



押し花キーホルダー
越田ユミ子さん